

保護者等向け 児童発達支援評価表

多機能型事業所カミングホームうつつがわ

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	50%			50%	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%				
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	100%				
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	50%			50%	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%				
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	100%				
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				100%	
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100%				
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか				100%	

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	75%			25%	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	50%			50%	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	50%			50%	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%				
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100%				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	50%			50%	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				100%	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				
	23	事業所の支援に満足しているか	100%				

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	2	職員の配置数は適切であるか	○		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	今後対象児の実態に応じた評価バッテリーの導入を検討していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○	○	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	○	

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか		<input type="radio"/>	現在は親子での個別のみで対応
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>		
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>	
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>		
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			非該当
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			非該当
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>		
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>		
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>		
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>		
29		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>		

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか			該当児童がいない
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			該当児童がいない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		

47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			該当しない
----	---	--	--	-------

(保護者等の皆様へ)

この放課後等デイサービス支援評価表は、放課後等デイサービス事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	94%	6%		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	81%	19%		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%			
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	94%	6%		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25%	50%	25%	
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	44%	12%	44%	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	69%	31%		一度は納得せざるを得なかったのですが、怪我した時の対応は、納得できない部分がありました。活動時間内で起きたことなのに、保障がないのはおかしいと思いました。障害がある子の学童なので、それなりには理解はできるが、安心して預けられないのでは？と思います。長年お世話になっているので、言いづらい部分があり、こつう形で伝えて申し訳ないです。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	94%	6%		
	14	個人情報に十分注意しているか	88%	12%		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	88%	12%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	63%	37%		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	81%	19%		
	18	事業所の支援に満足しているか	88%	12%		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	建物の構造上、バリアフリー化は難しいが、必要のない物をみだりに出しっぱなしにしない等の配慮を行なっている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		計画していたとおりには事業所内研修を充実させることができなかった。
適切 な 支 援 の 提	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		Vineland II の活用をしていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
供	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当なし
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	近隣のセンターが研修等を実施していない
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				該当なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				該当なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		職員間でヒヤリハットの在り方を再考し、事故発生を未然に防ぐ目的であるものという意識を高め、作成の意識を高めていく必要がある。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所カミングホームうつつがわ

公表日 年 月 日

利用児童数 5名

回収数 3名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	66%			34%		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	33%	33%		33%		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%					
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	66%			34%	適切な人数がよくわからない	現在はOT 1名のみが訪問支援に従事しているが、今後は必要に応じた他の職種の訪問支援も検討していきたい
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	64%			34%		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	66%			34%		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%					
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。			34%	66%		保育所等訪問支援の対象児で考えると、年齢や発達の問題も様々であるため、なかなか一堂に会する場の設定が難しいが、多機能型の事業所として児発・放デイの利用児保護者との場の設定をしていきたい。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	66%	34%				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33%	33%		33%		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	100%						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	100%					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	66%	34%				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	33%		33%	33%		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。		36%		66%		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		36%		66%		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%					
	28	事業所の支援に満足していますか。	64%			36%	園の先生と話しあいながら支援していただき、園生活がスムーズに送れるようになりました。訪問に行ってもらえない月があった。	訪問支援員のスケジュールが調整できず訪問できない月があった。次年度は改善します。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

多機能型事業所カミングホームうつつがわ

公表日

年 月 日

利用児童数

R7年3月1日 利用児童5名 回収数 2名分

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100%			互いに子どもの様子を伝え合いながら、子どもが困っていることに対してどんな対応ができるのか、一緒に考えてくださり助言を頂けて、とても参考になりました。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%			専門的な知識を分かりやすく教えて頂き、理解がしやすかった。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	100%			話し合いの時間以外にも、保育の中で質問に答えてくださることもあり、とても丁寧な対応をして頂きました。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	100%			実際に保育に取り入れてうまくいったことがあったり、課題を見つけることができた。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	50%	50%		来ていただいた際には、子どもについての共通理解が測れていたが、時間の調整が難しいこともあった。	可能な範囲で訪問先のご都合に合わせた訪問とフィードバックを心がけていましたが、どうしてもこちらのスケジュールと合わずにご迷惑をおかけしました
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
					できるだけ訪問先のスケジュールの邪魔にならないよう配慮しながら訪問を実施しましたが、どうしても訪問支援員のスケジュールとの兼ね合いでうまく時間を組めないこともあったと反省しています。他の業務をしっかりと整理して訪問先施設が希望する日時に訪問を入れられるよう努力していきたいと思います。	

○本評価表は、保育所等訪問事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

○「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点、改善が必要 だと思われる点など	課題や改善すべき点など
営 環 境 ・ 場 ・ 通 制 整	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	○			フォーマルなアセスメントツールがあればよりの確かな助言や支援の提供ができたのではないかと感じるがあった
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	4	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
業 務 改 善	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げているか	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	○		全国児童発達支援協議会が主催する研修会や作業療法関連の学術大会に参加	
適 切 な 支 援	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか	○			フォーマルなアセスメントツールの活用も検討していきたい
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	△		主なアセスメント方法としては、担任の先生からの聞き取りや集団の場での行動観察であった	フォーマルなアセスメントツールの活用も検討していきたい
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか	○			

の 提 供	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか		○		訪問は一人でいくため、事前の打ち合わせは行っていない。児発管との共有はすべきであった
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		訪問は一人でいくため、振り返りは行ってない。児発管との共有を検討していく
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行なっているか	○			
	17	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか	○			
	20	地域の保険、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○			
	21	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		今年度は就学する児童がいたため、園と小学校との情報共有の場に同席させていただき、訪問支援での状況を伝えること	
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか	○			
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		長崎市子ども部会の部会長として参加している	
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○			保育所等訪問支援の利用児で実施するというより、多機能型事業所全体を対象とした場を検討していきたい
保 護	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか	○			
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			
	29	保育所等訪問支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか	○			

受 者 へ の 説 明 等	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行なっているか	○			
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によって、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか		○	保育所等訪問支援の利用児で実施するというより、多機能型事業所全体を対象とした場を検討していきたい	
	32	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNSを活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	多機能型事業所としてのおたよりは毎月発行しているものの、訪問について発信したことはない	プライバシー保護の観点に留意しつつ、訪問の様子・内容についての発信も検討していく
	34	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行なっているか	○			
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行なっているか	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行なっているか	○			
	39	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
非 常 時 等 の 対 応	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行なっているか	○			
	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	マニュアルの策定はしているが、利用者への周知ができていない	
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○			
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	○			
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			